

東濃中部地域新病院造成事業に係る自然環境調査

東濃中部地域新病院造成事業の計画にあたり、事業予定地及びその周辺において、現在自然環境調査を実施しております。

自然環境調査とは

本調査は、新病院予定地及びその周辺において、植物、ほ乳類、鳥類、両生類・は虫類、水生生物、昆虫類の生育・生息状況の現状を把握し、自然環境への影響を可能な限り低減させた土地造成計画検討の基礎資料とするために、約 1.5 年の期間をかけて調査を実施するものです。



新病院予定地の現況

調査実施内容

- 実施期間：R3 年 7 月～R5 年 3 月
- 調査場所：肥田町浅野、中肥田、陶元地区
- 調査項目：植物及びほ乳類、両生類（カエル等）、は虫類（ヘビ等）、鳥類、水生生物（魚類、甲殻類等）、昆虫類等の動物を目視観察やあみ等で捕獲する調査を実施

調査結果の概要

現地調査により、樹林地や荒れ地、ため池等に生育・生息するヒメジョオンやクサギなどの植物、カエル類やヘビ類、トンボ類、チョウ類などの昆虫、ブルーギルなどの水生生物が確認されています。そのほか、人里近くに生息するタヌキなども確認されています。



また、貴重な種（近年数が少なくなっている種）に対しては、今後必要に応じて保全対策（周辺類似環境への移動保全）を検討していきます。

今後の調査実施予定

- 春季動植物調査：令和 4 年 5 月頃
- 両生は虫類調査：令和 4 年 6 月頃
- 鳥類調査：令和 4 年 8 月頃まで
- その他現地確認：令和 5 年 3 月頃まで